

新城市民病院での研修を振り返って

豊橋市民病院 研修医

今回、地域医療の研修ということで新城市民病院に一か月間配属させていただきありがとうございました。総合診療科に配属させて頂き、今までは検査だよりの診察をしてきましたが、患者の主訴や病歴にしっかりと向き合い、丁寧に診察し、人間を診るということの大切さを学ぶことができました。診察後に総合診療科の先生方の指導を一症例ずつ受け、その際先生方の診断の考え方、鑑別疾患の多さ、生活習慣病に対する具体的な食事・運動療法など、今まで学んできてこなかったことの多さ・重要さに気がつかされました。患者さんの主訴を大切にし、ジェネラルに見れるということの強み・すごさを目の当たりにすることができ、自分が今まで行ってきた医療の拙さ実感しました。カンファレンスにも参加させて頂き、自分の考えを伝えることのむずかしさを再認識しました。さらには、先生方の学習の仕方や、その取り組む姿勢にも感銘を受けました。新城市民病院にはEBMを用いた学習方法が根付いており、一か月の短い期間でその空気に触れることができたのは大変有意義でした。朝カンファレンスもあり自分が勉強したことを共有したり、他の先生方の意見をうかがうことができたりと、本やインターネットで調べられないエキスパートオピニオンを聞くことができ自分も成長できたと思います。

また、訪問看護や訪問リハビリでは在宅での医療も目の当たりにすることができ大変勉強になりました。温かい家族に囲まれて過ごすことで入院中には見ることのできない笑顔が見れて心温まりました。

作手診療所の見学ではさらに地域に密着した医療を診ることができました。患者さんのほとんどが顔見知り通しで病気の状態を診るだけでなく家庭環境の変化や子供の成長なども情報があり市街地では味わえない喜びがありました。

助産所見学もあり、地域ぐるみで出産や子育てを支えていくという良い環境がありました。家族の付き添いのもと出産できたり、兄や姉が自分の兄弟が生まれてくることを手伝える環境があり、それを支える助産師さんのすごさにも驚きました。

最後に新城市民病院の先生方、コメディカルの皆様、各部署の方々にお礼を述べさせていただき、地域実習の感想文とさせていただきます。